

令和3年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	法人の理念を考え、園内研修や環境構成の係などの活動を通して保育室の環境を見直すことが出来た。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にされた保育をしている	C	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	C	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	C	1, 2歳児の保育室の環境が合同になったことで、コーナーづくりが充実し、子どもたちが興味のある遊びに集中して遊べるようになった。職員も子どもたちの遊びや興味のある事に前向きに取り組み、楽しんで、保育室のレイアウトを考えている姿が見られた。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	C	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	C	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	B	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	0, 1, 2歳児乳児の食育活動に栄養士、職員の意見を話し合、子どもたちの発見・体験することを取り入れていった。少し年齢や月齢に沿わない内容もあったが、職員の声掛けや興味を示せるような、配慮で楽しんで行うことが出来た。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	B	
役割研削員構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	1, 2歳児の保育室は環境構成の係だけでなく、各職員が自分のコーナーを担当することで、子どもの気付きや興味に合わせ、都度コーナーの配置を変えたり、手作り玩具を用意していた。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	C	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	C	

		評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	C	コロナ禍での行事を保護者にどのように参加してもらうかなど、見せ方を職員と話し合い、工夫して行うことが出来てきた。ドキュメンテーションのサイズを変えて見やすくしたり、デザインマップを模造紙に貼り保護者に見て頂くことで、子どもたちの保育の中での活動を知ってもらうことが、出来てきた。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	
	(4)園日より、ドキュメンテーション、きつずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	B	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	B	
開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	C	気になる子への対応は、世田谷区との連携で巡回指導をしてもらった。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	
子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	D	コロナ禍の為地域活動は出来なかったが、商店街に散歩に行き、地域を知ることができた。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	C	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	D	

総合的な現状と課題

昨年に引き続きコロナ禍での1年間でした。この中で保護者に子どもたちの保育園での活動や成長をどのように伝え発信していくかを、職員と一緒に考えた1年でした。6月に保育室の環境を大きく変えることで、初めは戸惑う職員や合同保育室のあり方に不安を抱く職員もいましたが、保育室が広く使用できることで、子どもたちの遊びのコーナーづくりが発展し、職員一人ひとり、コーナーに対しての向き合い方が変わったのをきっかけに、法人の理念を理解し保育に向き合えるようになっていった。子どもたちの興味は、成長と共に常に変化していくことに気付き、コミュニケーションを取りながら進める姿が見られる1年となりました。来年度に向けまた新たな気持ちで、担任が変わり子どもたちも進級することで、話し合いや子どもたちの主体性を大切に、法人の理念を元に行事や保護者への発信など考えて行きたいと思いません。